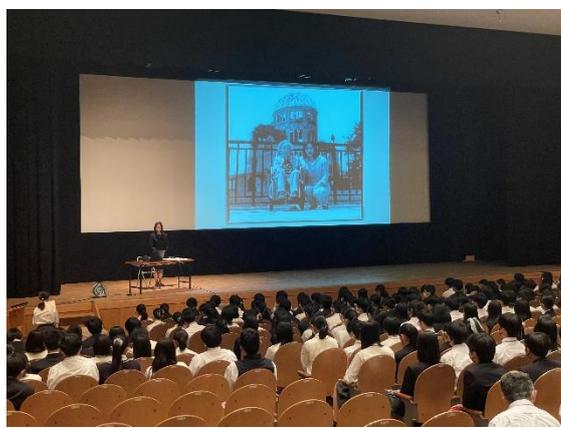


舟入探究日誌 第1号

～1年生～

1年生は、「舟入市女23期生綿岡智津子さんの長女」にあられる「岩田美穂先生」をお招きし、『「原爆、戦争、平和、そして未来へ」～今、舟入生にできること～』という演題の元、ご講演をいただきました。原爆は「過去のこと」、他国の紛争は「遠くのこと」。平和な現代の日本に暮らす私たちにとっては本当の意味で「自分ごと」に考えることが難しい。平和学習は、「知ること」から始まり、「過去」や「外」の出来事を「自分のこと」として考えることであるような気がします。今日の講演で印象的だったのは、「智津子さん」の「写真」でした。人々の「記憶」を「もの」として残すことができる「写真」。普段私たちが教科書や資料館でみる「写真」もその1枚1枚に「人」の「記憶」が詰まっているんだな～と思いました。ヒロシマに住み、舟入高校で学ぶ私たちにとって戦争の「記憶」を風化させず、伝えていくことは1つの使命です。その伝え方は千差万別ですが、それを「探」しながら、一番いい方法を「究」めていく。これも探究の1つかもしれません。



～2年生～

舟入高校探究委員会2年生メンバーのNです。2年生も総合的な探究の時間「ABLE Time」が本格的に始動しました。舟入高校の2年生は分野ごとに分かれて1つのテーマを1年間研究し、年度末2月に行われるポスターセッションにて発表します。2月…！？！？結構時間があるのではないと思われるかもしれませんが、綿密な研究を行うためには早いに越したことはない！！という先生のお考えでしょうか、もうすでにテーマ決めが始まっています。1年生の頃よりもより専門的で自由度の高い探究に、私自身心躍っております。我が舟入高校は近年探究活動に力を入れており、総合的な探究の時間「ABLE Time」の他に探究委員会、探究道場など、授業外においてもさまざまな探究活動を行っています。興味がある人は一緒に探究の探究をしようではありませんか。では次回の探究日誌までさようなら。

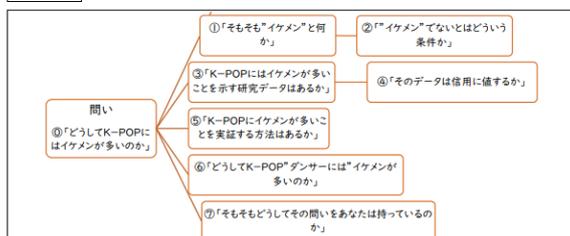
ワークシート「問い重ね」

最初の問いは多ければ多いほど良い！！問いに対して問いを立てる「問い重ね」、やってみましょう！

～「問い重ね」のコツ～（数字は下記の問いマップと対応）

- | | | |
|------------------------|----------------|--------------|
| ①→①：問いに用いられている言葉の定義を問う | ①→②：問いの「逆」を問う | |
| ②→③：研究データの有無を問う | ③→④：データの信用性を問う | |
| ④→⑤：方法の有無を問う | ⑤→⑥：条件付きて問う | ⑥→⑦：問いに対して問う |

問い重ねの例



～3年生～

舟入高校探究委員会3年生メンバーのHです。「舟入探究日誌」スタートです みなさんは「探究」とはどのようなものかイメージできていますか？ 私は舟入の探究において大切な点は結果ではなくプロセスにあり、「常識的にこうなるよね」や「大体こうなる!」のような“やり方”ではなく、「なんでそうなるか」や「正解ではなくてもなぜそう考えたか」まで“突き詰めて行くこと”が大事だと考えています。実際の活動を報告していきます 3年生のABLE Timeでは「個人で論文を書く」に向かって取り組んでいます。今回は各個人の進捗がそれぞれ異なっているので、自分の研究テーマをタブレットや図書室で探したりする人や 既にテーマが決まっていて先行研究をよんだりする人がいたりと多様に活動していました。私は研究の分野は決まっていますが具体的なものはまだ決まっていないので色々な種類の論文を読むことに時間を使いました。自分で考えて自由に行動できるので難しくもありますがとてもおもしろいです。9つの力習得を目指して探究していきます。それではまた次回の「舟入探究日誌」までさよなら!

